
送信者: "c-green-l" <cgl@logistics.or.jp>
宛先: "ロジスティクス環境会議" <cgl@logistics.or.jp>
送信日時: 2005年4月28日 13:51
件名: ロジスティクス環境会議【CGL NEWS Vol.10】

2005.4.28

CGL NEWS Vol.11
/Conference on Green Logistics in Japan
<http://www.logistics.or.jp/fukyu/green1.html>

『CGL NEWS』は、ロジスティクス環境会議の委員会メンバーの方々を対象として、毎月1回のペースで環境会議の各委員会の活動状況と行政動向に関する情報提供を行って参ります。

※お知らせすべきニュースがある場合は、都度発信させていただきます。

*** 第1回グリーン物流パートナーシップ会議 開催報告 ***

4月26日(火)、JILS、日本物流団体連合会、経済産業省、国土交通省、日本経済団体連合会(オブザーバー)の主催により、1回目の会合が開催されました。今回は特に、経済産業省と国土交通省から「モデル事業の公募要領」が発表されたので、必ずご確認ください。
以下、会議の主な内容です。

■グリーン物流パートナーシップ会議のトップページ
<http://www.greenpartnership.jp/>

- ・会議メンバーの登録状況
2164社(荷主企業647社、物流企業1197社、行政機関等320団体)
<http://www.greenpartnership.jp/summary/member.html>
- ・ワーキング委員会メンバーと全体スケジュールなど
<http://www.greenpartnership.jp/activity/pdf/handout1-1.pdf>
- ・モデル事業公募要領
<http://www.greenpartnership.jp/forum/index.html>
 - ・講演資料など
<http://www.greenpartnership.jp/activity/meeting.html>

グリーン物流パートナーシップ会議は荷主企業と物流企業が連携して、運輸部門における二酸化炭素排出量を削減することを目的としております。

ロジスティクス・物流分野における二酸化炭素排出量削減のための考え方、ツールについては、ロジスティクス環境会議でまとめられたマニュアルやガイド等の提供が求められており、環境会議の成果を広く産業界に啓発・普及することにつながります。

また、荷主企業と物流企業の連携による二酸化炭素排出量削減の取り組みを拡大するため、活動のための補助事業等の支援を行うこと(モデル事業公募)も行政側の大きな目的です。

——— ロジスティクス環境会議ニュース配信について ———

- 本メールは環境会議の各委員会にご登録いただいている方に配信しております。
- 企画編集:ロジスティクス環境会議 広報・普及専門委員会
- 発信元:社団法人日本ロジスティクスシステム協会

■お問い合わせ、配信停止・変更は:cgl@logistics.or.jp

※各委員会に対する質問、要望等も上記アドレスにお願いいたします。

(C) CGL NEWS All Rights Reserved.
